

令和6年度
地域循環共生圏づくり支援体制構築事業
キックオフミーティング 資料

活動団体の活動におけるテーマ

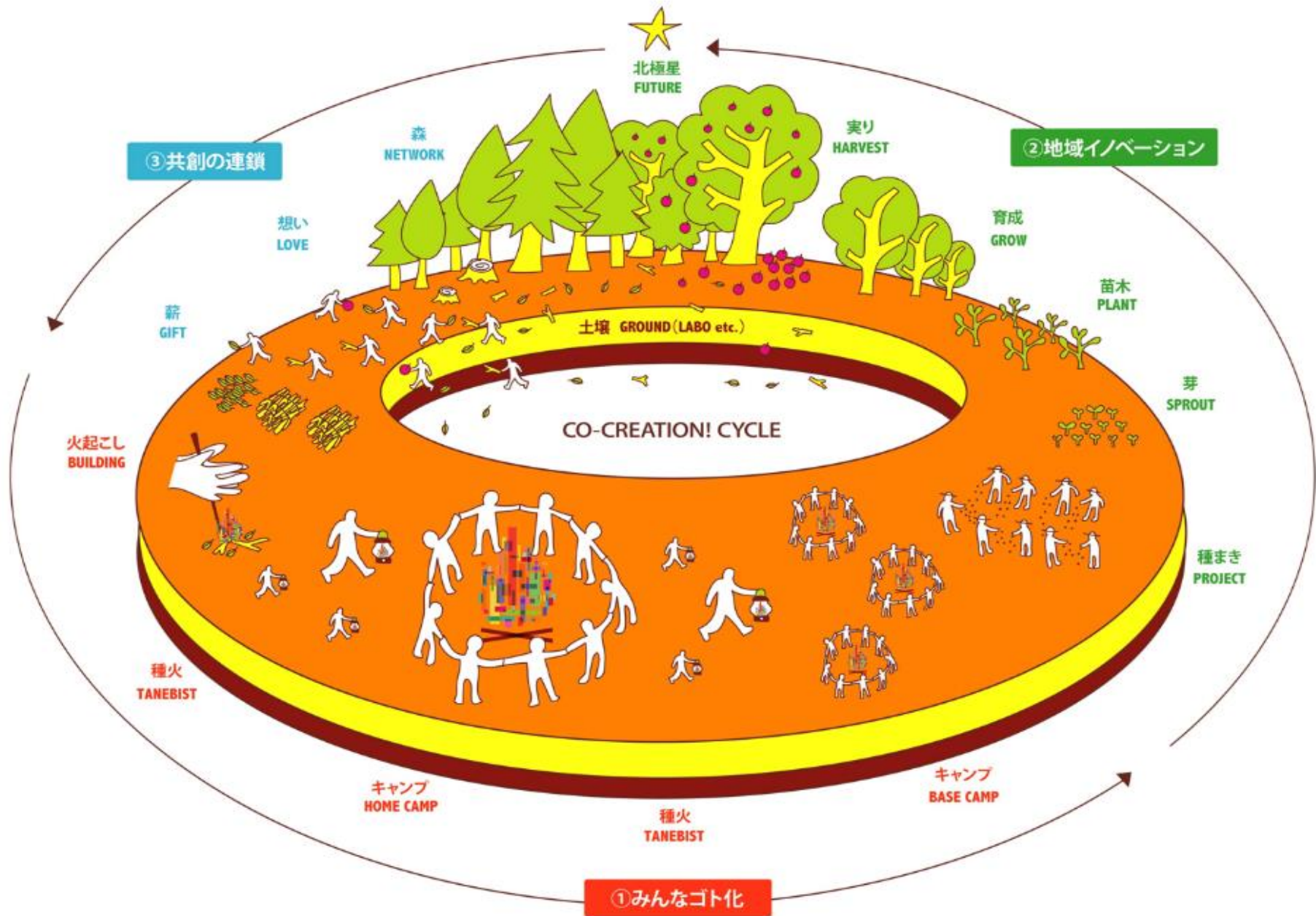
『100年後からみて歴史が変わった社会実験を』

活動団体の活動地域：奈良市

活動団体名：奈良コクリ！実行委員会

中間支援主体名：一般社団法人TOMOSU

活動団体 コクリ!プロジェクトとは?



コ・クリエイション（共創）とは？

コラボレーション（協働）

合意された目的を持って
今ある資源を組み合わせながら
協業していく

計画的アプローチ

→計画を実現する中で未来をつくる

コ・クリエイション（共創）

大きな方向性はあるが
正解がない中で、試行錯誤し
集合的に価値を共創造していく

生成的アプローチ

→予想外の新しい未来が生まれる



奈良が持つ伝統的な自然観や、
それが豊かに表れた歴史的・文化的資産を大切にしながら、
領域を超えて結びつき、新しい価値を生み出す
ワクワクする地域をつくりたい！

活動計画（概要）

ありたい地域の姿を実現するためには？

地域の課題

- ・観光滞在時間が短い
物見遊山的観光
- ・一人当たり観光消費額
全国最低水準
- ・県外就業率が全国トップクラス
- ・女性就業率全国ワーストクラス

地域のポテンシャル

- ・ひと（人口4年連続社会増）
- ・歴史/文化/自然 資産

必要な体制や仕組み

事業や活動の「種火」を生み出す仕組み・その仕組みを支える、人の人のつながり。



ココリ!によって「つながり」と「種火」を生み出す！

ローカルSDGs事業

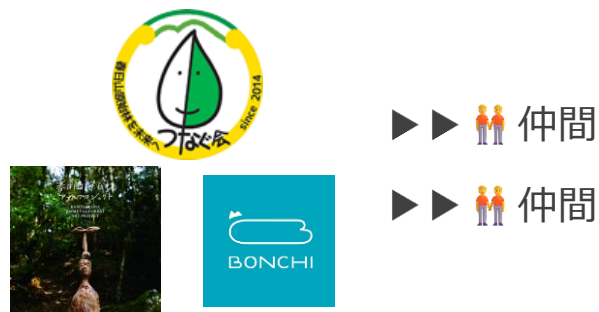
- ・コミュニティコンポスト活動
- ・コミュニティファンドの設立
- ・春日山原始林の活動を支える事業・組織づくり
- ・ ??????
- ・ ??????

ETC

個々人の思いを起点に事業や活動の種を探す仕組み・場づくりを行っていく。

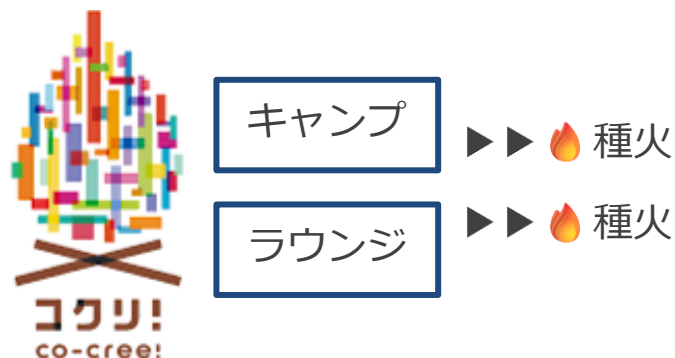
目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

様々な地域コミュニティ



産官学金の多様なセクターから、奈良コクリ！に共感する仲間を集める。

奈良コクリ！プロジェクト



メンバー同士がつながりながら、事業や活動の素となる「種火」を生み出していく。

ローカルSDGs事業



具体化した事業や活動を推進しながら、事業毎にさらに仲間を募っていく。

事業・活動が具体的になったタイミングでさらに仲間を募り、活動を広げていく。

「キャンプ」と「ラウンジ」

	 キャンプ	 ラウンジ
頻度	年に2回	2ヶ月に1回
開催方法	1~2日のプログラム	キャンプ参加メンバー中心に 2~3時間
目的	深く内面をみつめる 根っこでつながる	ゆるやかにつながる 協働する仲間を見つける
期待する成果	(ローカルSDGs事業等の) 「種火」が生まれる	「種火」を育てる 「活動・事業」を進める

キャンプで生まれた「種火」を
ラウンジを続けながら「活動・事業」に育てていく。



ローカルSDGs事業の詳細

地域プラットフォーム（PF内のメンバーやコアメンバー）で生み出そうとしている ローカルSDGs事業の詳細

●春日山原始林の活動を支える事業・組織づくり

世界遺産春日山原始林は、奈良県の「春日山原始林保全計画」に則り保全事業が進められている。本事業に関わる新たな事業・組織の立ち上げを行う。

●コミュニティコンポスト事業

「食の循環」「人と人のつながり」を生み出すひとつの施策としてコミュニティコンポストの活動準備を進めている。コンポストで堆肥をつくる過程で地域のつながり、生産者との関わりを強める。副次効果として、奈良市が抱えるゴミ処理の問題の一助にもなる可能性がある。

●コミュニティファンドの設立

地域の課題解決事業は収益性・採算性が伴いづらいものもあるため、担い手が生まれづらい構造を持つ。この状況を打破するため、社会課題・地域課題に向き合う起業家を応援するファンド設立を検討している。

3か年状態目標

2026年度末の状態目標

- ・ 3件のローカルSDGs事業の創出
- ・ 活動団体の事務局運営基盤の強化（予算をふまえた人員拡充、等）

2025年度末の状態目標

- ・ 2件のローカルSDGs事業の創出
- ・ 情報発信体制の構築（WEBサイト構築やSNS運用、等）

2024年度末の状態目標

- ・ 1件のローカルSDGs事業の創出
- ・ 各PJのビジョンの具体化と共通言語化を支援
- ・ 奈良コクリ！の公式WEBサイト構築に向けた素材集め

活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
奈良コクリ！ キャンプ				●						●		
奈良コクリ！ ラウンジ		●		●		●		●		●		●
春日山原始林 の商品・組織づ くり		山歩き ●	商品づくりWS ●				試作品づくり →					
					組織づくり検討 →						新組織設立準備 →	
ゴミ削減PJT			企画 →		募集 →		コンポスト講座 →			仲間 →		
コミュニティファ ンド設立							全国の事例リサーチ&ニーズ調査&在り方の検討 →					

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
活動団体		中間支 援主体と の活動計 画打合せ 等 ④										
活動団体と中間支援 主体共通※			キックオフ⑤ (地方ブロック ごとに開催)				中間共有会 (地方ブロック ごとに開催) ⑥					
			活動団体・中間支援主体間での定期的なミーティング(様々な形態でのコミュニケーション)(1回/月程度)									
		請負者との 連携協定	経費執行可能期間(仮)									
中間支援主体	地方支援 事務局との ヒアリング・ 支援計画 打合せ ①	第1回中 間支援 ギャザリ ング(オン ライン) ②										第2回 中間支援 ギャザリ ング(都内 開催) ③
その他環境省主催イ ベント (参加自由)							共生圏 フォーラム					
							地域循環共生圏セミナー(予定)					

中間支援主体より

中間支援主体の紹介

一般社団法人TOMOSUは、地域に在るあらゆる資源を活かし、新たな価値を見出すことによって持続可能な社会を実現する。そのために行政や民間主体とのパートナーシップを結び、新たな「公」の担い手となることをミッションとしてかかっている。

現在は、奈良市の創業支援事業を受託し、奈良市の創業支援施設・コワーキングスペースの運営および起業家の相談支援やセミナー開催などを行っている。地域企業を巻き込んだ県外在住者向け移住×起業プログラムや、大学生向け起業プログラムなど、多様な人材を混ぜるプロジェクトを得意としている。令和6年度から奈良県起業家支援金事業の事務局を担い、奈良県全域の地域課題を解決する社会的事業の起業家を増やす試みを進めている。

活動団体の取組へのコメント、中間支援の方針・計画

活動団体が定期的に行っている「奈良コクリ！キャンプ」では、ステークホルダーメンバーの関係強化、及び、事業の種を分散・連続的に生み出すことに強みを持っている。

中間支援ではその強みを活かすべく、活動の持続可能性を高める、参加する人を増やす、事業創出の道筋を立てることが重要と考えている。

また、獲得した中間支援機能を地域内外にどのように活かしていくか？も並行して考えていく。